

国立大学法人東京農工大学公開講座規程の一部を改正する規程を次のとおり制定する。

平成17年3月28日

国立大学法人東京農工大学長 宮田清藏

17 経教 規程第16号

国立大学法人東京農工大学公開講座規程の一部を改正する規程

国立大学法人東京農工大学公開講座規程（16教規程第17号）の一部を次のように改正する。

第1条中「実施」を「開設」に改める。

第2条を次のように改める。

（定義）

第2条 公開講座とは、大学が実施する社会貢献活動として、本学が持つ専門的、総合的な教育・研究機能を社会に開放することにより、生活上、職業上の知識、技術及び一般的教養を身に付けるための学習の機会を広く社会人等に対して提供するものをいう。

第6条を次のように改める。

（実施）

第6条 公開講座を実施しようとする組織及び施設は、実施計画書（別紙様式1）を事前に作成し、広報・社会貢献委員会委員長（以下「委員長」という。）に提出しなければならない。

- 2 公開講座の開設は、前項の実施計画書に基づき、広報・社会貢献委員会の議を経て、学長が決定する。
- 3 委員長は、前項の公開講座の開設が決定された場合は、速やかにその旨を教育研究評議会に報告する。
- 4 公開講座の運営に関する経費は、次条の講習料収入相当額を勘案し、予算の範囲内において措置する。

第7条を次のように改める。

（講習料等）

第7条 公開講座を実施する組織及び施設は、公開講座の実施に当たり、受講する者から講習料を徴収しなければならない。

- 2 文部科学省大学等開放推進事業に採択された公開講座は、講習料を無料とする。
- 3 小学生及び中学生を対象として自然科学や科学技術に対する興味・関心を高めること

を目的とする公開講座のうち、本学が適当と認める公開講座については、講習料を無料とすることができる。

- 4 第1項の講習料の額は、東京農工大学諸料金に関する規程第7条に定めるところによる。
- 5 公開講座の実施に当たり、第1項に規定する講習料のほか、実費経費を徴収することが必要となった場合は、受講する者から徴収することができる。
- 6 既納の講習料等は、原則として返還しない。

第8条第2項中「(別紙様式3)」を「(別紙様式2)」に改める。

第9条第1項中「(別紙様式4)」を「(別紙様式3)」に改める。

別紙様式1を次のように改める。

(別紙様式1)

平成 年度公開講座実施計画書

| | | | | | |
|------------------------------|------------------------------|-----|------------------|---|------------------|
| 講座名 | | | | | |
| 講座の種類 | . . . (公開講座実施要項の講習料設定の区分による) | | | | |
| 開催場所 | 学 内 (施設名等 :) | | 学 外 (住所、施設名等 :) | | |
| 開催時期 | 月 日 ~ 月 日 | 時間帯 | : ~ : | 総時間数 | 時間 |
| 受講対象者 | | | | A 募集人員 | 人 |
| 講座の開設趣旨・目的 | | | | | |
| 関係機関等との連携による実施計画 | | | | 主催 (共催など) | |
| | | | | 主催 : | |
| 1人当たりの所要経費 (B / A) | 円 | | | 公開講座実施要項 | |
| 講習料 (公開講座実施要項の講習料の範囲内で設定) | 円 | | | 3. の区分の講座 で講習料を「無料」 とする場合 (理由) | |
| 徴収予定額 | 円 (積算内訳)@ | | | 円 × 人 | |
| 実施経費 積算内訳 | 区 分 | | 員 数 | 単 価 | 金 額 備 考 |

| | | | |
|-----------------------|--|-----|-----|
| | 人 円 千円 | | |
| | 人件費 設備備品費 消耗品費 通信費 役務費 印刷製本費 諸謝金 国内旅費 職員旅費 講師等旅費 その他 | | |
| | B 合 計 | | |
| 講師予定者の職・氏名及び 担当時間数 | 職 名 | 氏 名 | 時間数 |
| | (実施代表者) | | |
| | (講師予定者) | | |
| | 計 | 人 | 時間 |
| 大学等開放推進事業への申請希望 | 希望する ・ 希望しない 注) 大学等開放推進事業への申請し、採択されなかった場合は、公開講座として実施することとなります。 | | |
| 備 考 | | | |

公開講座実施計画書作成上の注意事項

「公開講座実施要項」に基づき、以下について作成してください。

1. 講座名については、正確に記入してください。
2. 講座の種類は、「公開講座実施要項 3. 講習料の設定」の区分に従い、該当する事項を で囲ってください。
3. 開催場所については、キャンパス名、施設名等具体的に記入してください。
4. 受講対象者・募集人員については、会場、設備、講座の内容等を総合的に勘案し、記入してください。ただし、受講対象者を制限する場合は、具体的に「高校生以上の市民一般」、「企業等における 関連に携わっている研究者・技術者」等と記入してください。
5. 講座の開設趣旨・目的については、講座を実施するに当たり、その必要性、成果、社会のニーズ等具体的に記入してください。
6. 講習料は、「公開講座実施要項 3. 講習料の設定 講習料の範囲」を参照してください。
7. 実施経費積算内訳については、公開講座を実施するのに必要な経費（消費税込みの額）のみを計上してください。

人件費について

- ・学生アルバイト賃金は、人件費に積算してください。
- ・学外講師への諸謝金については、 諸謝金に積算してください。

設備備品費

- ・原則として本経費による設備の購入はできません。
- ・備品となるものを購入する場合は、備品費に積算してください。
- ・備考欄に公開講座経費で購入しなければならない理由及び必要性を記載してください。

消耗品費

- ・公開講座実施に伴う必要最小限な経費を計上してください。

通信費

- ・受講者等との通信に必要な経費を計上してください。

役務費

- ・公開講座実施に伴い業務委託を必要とする場合は、役務費に積算してください。
- ・備考欄に業務委託をしなければならない理由及び必要性を記載してください。

印刷製本費

- ・テキスト印刷費、開催案内作成費、報告書印刷費等の経費を計上してください。

諸謝金について

- ・公開講座は、国立大学法人法第22条（業務の範囲）において、国立大学法人が自

ら行う業務として定められていますので、学内講師を用いるよう計画してください。ただし、学外との連携による開設や学外講師を用いることが適当と思われる場合に限って、原則として学外講師に謝金を支給することができることとします。

- ・ 諸謝金の単価は、「東京農工大学諸謝金単価基準表」により、担当内容に即した単価設定をしてください。

国内旅費（職員旅費、講師等旅費）について

- ・ 旅費の積算に当たっては、事前に旅費支給事務担当者に確認するなど、正確に積算してください。
- ・ 外国旅費は、対象となりません。

その他

- ・ 上記に属さない必要経費を積算してください。
- ・ 備考欄にその他に区分した理由を記載してください。

上記によらず、受講者が実費負担とすべきと考えられる経費（交通費、障害保険料等）は、計上できません。

- 8 . 講師予定者の職・氏名及び担当時間数については、備考欄に各講師の役割分担を記入してください。

別紙様式 2 を削る。

別紙様式3を次のように改める。

(別紙様式2)

公開講座アンケート調査票

東京農工大学が開催した公開講座にご参加いただき、ありがとうございました。

今後の公開講座の企画・運営等にあなたの意見を参考とさせていただきたく、下記アンケートにご記入いただくと幸いです。

なお、ご記入いただきましたご意見等は、一切目的外の使用はいたしません。

お手数をおかけいたしますが、ご協力方よろしく願いいたします。

| | |
|---|---|
| 居住地を記入してください。 | 区、市、郡 |
| 性別 | 男性 ・ 女性 |
| 職業 | 1.小・中・高校生 2.大学生 3.会社員(職種:) 4.公務員(職種:) 5.主婦 6.その他() |
| 年齢 | 1.~12歳 2.13歳~15歳 3.16歳~18歳 4.19歳~29歳 5.30歳代 6.40歳代 7.50歳代 8.60歳以上 |
| 今回、この講座を受講した理由を記入してください。 | |
| 公開講座をどこでお知りになりましたか。 | 1.大学ホームページ 2.ポスター・チラシ 3.市報 4.新聞 5.その他() |
| 評価 | 1.大いに満足 2.満足 3.普通 4.やや不満 5.大いに不満 6.その他() |
| 今回、受講して感じたことや思ったことを記入してください。 (期間 場所 講習料 講座内容 講師 等) | |
| 今後、東京農工大学で開催して欲しい講座があれば、記入してください。 | |

ご記入、ありがとうございました。

別紙様式 4 を次のように改める。

(別紙様式 3)

平成 年度公開講座実施報告書

| | | | | |
|--------------------------------|------------------|--|---|------------------------------------|
| 講座名 | | | | |
| 開催部局 | | | | |
| 実施担当者 (官職・氏名) (代表者に を付す) | | 学内：教員 名 職員 名 学生 名 学外：教員 名 その他(具体的に) 名 | | |
| 実施概要 | 開催場所 | | | |
| | 開催時期・時間 | 平成 年 月 日～平成 年 月 日(日間 時間) | | |
| | 講座内容の概略・目的・開放施設等 | (講座・事業の概略・目的、方法、内容、実際に開放した施設・実験機器など記入) | | |
| | 対象者 | | | |
| | 募集人数・受講者数 | 募集人数 名 受講者数 名(有料者： その他：) 内訳：一般 名、小学生 名、中高校生 名、 保護者 名、その他 名 | | |
| | 講習料収入額 | 円(@ 円× 人) | | |
| 広報活動 | 周知方法等 | <input type="checkbox"/> 掲示物(ポスター等) 枚数： 掲示先： | <input type="checkbox"/> 配布物(チラシ・パンフレット) 枚数： 配布先： | <input type="checkbox"/> その他(具体的に) |
| | | <input type="checkbox"/> マスコミ(新聞・市報等) 媒体名： | <input type="checkbox"/> ホームページ | |

| 成 果 ・ 改 善 | |
|-------------------------|--|
| 参加者アンケート 結果 | 回収枚数： 回収率 : % 集計主要結果：（受講者の年齢構成、意見等） 別紙にて添付されても結構です。 |
| 参加者満足度 評価 | 大いに満足 ある程度満足 やや不満足 不満足 |
| 総合自己評価 | 大いに成功 ある程度成功 やや不成功 不成功 |
| 評価根拠 | |
| 次回に向けて の改善が必要 な事項 | |
| その他 | （自由記入） |

附 則（ 17 教 規程第 16 号）
この規程は、平成 17 年 4 月 1 日から施行する。